

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、保健福祉サービスや介護保険制度に関する意見や要望を把握することにより、高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画の策定のための基礎資料として活用することを目的とする。

2 調査の概要

本調査においては、つぎの6つの調査を実施した。

- (1) 一般高齢者調査
- (2) 介護保険居宅サービス利用者調査
- (3) 介護保険施設サービス利用者調査
- (4) 介護保険サービス未利用者調査
- (5) 市民意識調査
- (6) 居宅介護支援事業者調査

(1) 一般高齢者調査

調査の目的

市内に居住し、要支援・要介護認定を受けていない高齢者の意識と生活実態を把握し、サービスの潜在需要や介護予防の具体化に向けた方策を検討する。

調査対象

市内に居住する第1号被保険者（要支援・要介護認定者を除く） 3,000人
平成17年5月20日現在で住民基本台帳から無作為抽出

調査方法

アンケート調査・郵送法（礼状1回送付）

調査期間

平成17年6月1日～6月16日

調査結果

回収数 2,472件（回収率 82.4%）、有効回収数 2,470件（有効回収率 82.3%）

調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問(案)
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F8	現在の居場所／記入者／性別／年齢／家族構成 （付問：同居者の年齢、配偶者の年齢） 居住地域／住宅／住宅の問題点
B 身体状況	日常生活動作をたずね、要介護高齢者の実態を把握する	問1	日常生活動作
C 健康状態・ 健康づくり	健康状態・健康づくりへの取り組みを探るとともに、今後必要な介護予防施策を講じるための参考とする	問2 問3 問4 問5 問6	健康状態 医療機関の受診状況（付問：医療機関数、診療科） 病歴 かかりつけ医の有無 かかりつけ歯科医の有無

		問7 問8 問9 問10 問11 問12 問13 問14	かかりつけ薬局の有無 健康づくりについての意識（付問：実行していること） 咀嚼の程度 健康・福祉サービスの情報入手方法 介護予防への関心 いきいきプラザでの介護予防プログラムへの参加意向 「おたっしゃ21」の受診意向 介護予防策への要望
D 日常生活・ 生きがい活 動	社会参加や自己実現の現状と 意向を探り、今後の高齢者施 策の可能性について探る	問15 問16 問17 問18 問19	外出の状況 就労状況（付問：就労形態、働きたい場所） 生活の悩みや不安 悩みの相談先 生きがい活動の現状と意向
E 保健福祉 サービス	市が行う高齢者保健福祉施策 の今後のあり方について探る	問20 問21	高齢者保健福祉サービスの利用状況・利用意向 市が優先的に取り組むべき保健福祉サービス
F 介護保険 サービス	制度の認知度や意向をたず ね、サービスの需要を探る。 また、制度の改善や利用促進 を図るために役立てる	問22 問23 問24 問25 問26 問27	保険料段階 介護保険サービスと保険料についての考え方 介護保険サービスの利用意向（付問：具体的条件） 介護保険サービスの周知状況・利用意向 介護を受けたい場所 介護保険制度の改善策
G 高齢者の権 利擁護	利用者の立場にたった施策を 展開するための参考とする	問28 問29 問30	権利擁護制度の周知状況 相談窓口の周知状況 周囲で困っている人の有無（付問：困っている人、 事例）
H 要望	市への要望をたずねる	問31	市への要望＜自由意見＞

（2）介護保険居宅サービス利用者調査

調査の目的

介護保険居宅サービス利用者に対し、サービスの利用状況と利用意向、満足度などを探り、サービス水準の目標設定やサービスと保険料の妥当性などを検討する。

調査対象

介護保険居宅サービス利用者 2,800人

平成17年3月現在で居宅サービスを受けている方から無作為抽出

調査方法

アンケート調査・郵送法（礼状1回送付）

調査期間

平成17年6月1日～6月16日

調査結果

回収数 2,143件（回収率 76.5%）、有効回収数 2,135件（有効回収率 76.3%）

調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問（案）
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F9	現在の居場所 / 記入者 / 性別 / 年齢 / 家族構成 （付問：同居者の年齢、配偶者の年齢） 居住地域 / 住宅 / 住宅の問題点 / 要介護度

B 身体状況	日常生活動作をたずね、要介護高齢者(在宅)の実態を把握する	問1	日常生活動作
C 健康状態・医療の状況	健康状態・医療の状況を探り、要介護高齢者の実態を把握する	問2 問3 問4 問5 問6 問7 問8 問9 問10	健康状態(付問:寝たきりの期間) 健康づくりについての意識(付問:実行していること) 咀嚼の程度 口腔ケア指導の有無 医療機関の受診状況(付問:医療機関数、診療科) 病歴 かかりつけ医の有無 かかりつけ歯科医の有無 かかりつけ薬局の有無
D 介護保険サービスの利用状況と利用意向	介護保険サービスの利用状況と満足度を探り、サービス水準の見直しと利用促進策に役立てる	問11 問12 問13 問14 問15 問16 問17 問18 問19 問20	保険料段階 介護保険サービスと保険料についての考え方 介護保険の利用料 利用限度額の状況(付問:限度額を超過する理由・限度額まで利用しない理由) 在宅サービスの利用状況 介護保険サービスの利用意向 介護予防策への要望 地域密着型サービスに対する考え方 介護を受けたい場所 介護保険制度の改善策
E 利用者本位のサービスのあり方	利用者本位のサービス提供を進めるため、ケアマネジャーや事業者との関係の実態を探る。並行して行う事業者調査と対比することも考えられる	問21 問22 問23 問24 問25 問26	ケアプラン作成事業者の選定理由 ケアプランに対する満足度(付問:不満の内容) ケアマネジャーの対応についての評価 ケアマネジャーに対する満足度 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること 不平や不満を言うことができる環境の有無(付問:不満や苦情を言えない理由)
F 介護保険サービスの満足度	介護保険サービスを利用した際の満足度を探る	問27 問28	サービスの満足度、不満がない理由 サービス利用後の変化(付問:変化がない理由)
G 高齢者の権利擁護	利用者の立場にたった施策を展開するための参考とする	問29 問30 問31	権利擁護制度の周知状況 相談窓口の周知状況 周囲で困っている人の有無(付問:困っている人、事例)
H 保健福祉サービス	保健福祉サービスの利用状況と意向を探る	問32	保健福祉サービスの利用状況・利用意向
I 要望	市への要望をたずねる	問33	市への要望<自由意見>
家族へのご質問			
J 家族介護への支援のあり方	家族介護者のプロフィールや介護の問題を探り、介護者の生活の質の向上に役立てる	問34 問35 問36 問37 問38 問39 問40 問41	主な介護者 介護者の年齢 介護者の就労状況(付問:就労形態) 介護期間 介護時間 認知症の症状 介護の問題点 今後の生活の場所

(3) 介護保険施設サービス利用者調査

調査の目的

介護保険施設サービス利用者に対し、サービスの利用状況と利用意向を探り、サービス水準の目標設定やサービスと保険料の妥当性などに関する検討を行う。

調査対象

介護保険施設サービス利用者 500人

平成17年3月現在で施設サービスを受けている方から無作為抽出

調査方法

アンケート調査・郵送法（市内介護福祉施設には直接配布、郵送回収）（礼状1回送付）

調査期間

平成17年6月1日～6月16日

調査結果

回収数 359件（回収率 71.8%）、有効回収数 341件（有効回収率 68.2%）

調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問（案）
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F6	入所施設／回答不能理由 記入者／性別／年齢／入院・入所期間／家族構成 (付問：同居者の年齢、配偶者の年齢)／要介護度
B 身体状況	日常生活動作等の状態をたずね、要介護高齢者（施設）の実態を把握する	問1 問2 問3 問4 問5 問6	日常生活動作 健康状態（付問：寝たきりの期間） 病歴 医療処置 咀嚼の程度 口腔ケア指導の有無
C 介護保険制度に関する考え方	介護保険の見直しに際し、居住費の徴収などに関する意見などをたずね、今後の施策の参考とする	問7 問8 問9 問10 問11 問12	保険料段階 介護保険サービスと保険料についての考え方 施設利用料の費用についての負担感 その他の費用についての負担感 居住費徴収についての考え方 介護保険制度の改善策
D 施設での生活・サービスについて	施設でのサービスの状況や満足度などをたずね、サービスの質の向上に向けた資料として役立つ	問13 問14 問15 問16 問17 問18 問19 問20	入所・入院している部屋の定員（付問：個室の希望） 入所時の重要事項の説明に対する評価 入所時のわかりやすい説明に対する評価 サービスに対する提案の有無 サービス利用後の変化 サービスの満足度、不満な理由 プライバシーへの配慮 身体拘束に関する現状
E 要望	利用者の立場にたった施策を展開するための参考とする	問21 問22	今後希望する介護（付問：希望する別の施設、帰宅先、帰宅にあたっての問題点） 市への要望＜自由意見＞
F 心身の状況	分析の基礎データとする	問23 問24 問25	健康状態 認知症（痴呆）の有無（付問：症状） 今後の生活の場所

(4) 介護保険サービス未利用者調査

調査の目的

介護保険サービス未利用者に対し、未利用であった理由と、今後の意向について把握し、適正なサービス利用につなげる方策を探るための参考とする。

調査対象

介護保険サービス未利用者 500人

平成17年3月現在の要支援・要介護認定者のうち、介護保険サービスを利用していない方から無作為抽出

調査方法

アンケート調査・郵送法（礼状1回送付）

調査期間

平成17年6月1日～6月16日

調査結果

回収数 380件（回収率 76.0%）、有効回収数 379件（有効回収率 75.8%）

調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問(案)
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F8	現在の居場所/記入者/性別/年齢/家族構成 (付問:同居者の年齢、配偶者の年齢)/居住地域 住宅/要介護度
B 健康状態・ 健康づくり	健康状態・健康づくりへの取り組みを探るとともに、今後必要な介護予防施策を講じるための参考とする	問1 問2 問3 問4 問5 問6 問7 問8 問9 問10	日常生活動作 健康状態(付問:寝たきりの期間) 健康づくりへの意識(付問:実行していること) 食事 咀嚼の程度 医療機関の受診状況(付問:医療機関数、診療科) 病歴 かかりつけ医の有無 かかりつけ歯科医の有無 かかりつけ薬局の有無
C 日常生活・ 生きがい活動	社会参加や自己実現の現状と意向を探り、今後の高齢者施策の可能性について探る	問11 問12	外出の状況 生きがい活動の現状と意向
D 介護保険 サービスを利用しない 理由	介護保険サービスのニーズや利用しない理由を探り、サービス水準の見直しと利用の促進に役立てる	問13 問14 問15 問16 問17	要介護認定の申請者 現在介護を受けている方法(付問:利用サービス) 在宅生活の問題点 サービスを利用しない理由 介護を受けたい場所
E 介護保険 サービス	介護保険サービスのニーズを探り、サービス水準の見直しに役立てる	問18 問19 問20	保険料段階 介護保険サービスと保険料についての考え方 介護保険制度の改善策
F 保健福祉 サービス	保健福祉サービスの利用状況をたずね、ニーズを探る	問21 問22 問23	保健福祉サービスの利用状況・利用意向 地域密着型サービスに対する考え方 市が優先的に取り組むべき保健福祉サービス

G 高齢者の権利擁護	利用者の立場にたった施策を展開するための参考とする	問 24 問 25 問 26	権利擁護制度の周知状況 相談窓口の周知状況 周囲で困っている人の有無（付問：困っている人、事例）
H 要望	市への要望をたずねる	問 27	市への要望＜自由意見＞

家族へのご質問

I 家族介護への支援のあり方	家族介護者のプロフィールや介護負担の実態を探り、介護者の生活の質の向上に役立てる	問 28 問 29 問 30 問 31 問 32 問 33 問 34 問 35	主な介護者 介護者の年齢 介護者の就労状況(付問：就労形態) 介護期間 介護時間 認知症（痴呆）の症状 介護の問題点 今後の生活の場所
-------------------	--	--	--

（5）市民意識調査（20歳以上65歳未満）

調査の目的

市内に居住する20歳以上の市民を対象に、高齢者保健福祉サービスや介護保険に対する意識などを把握するほか、日頃からの健康づくりの実践、地域コミュニティへの係わり方もたずね、早い段階から介護予防に取り組むための課題と方向などを探る。

調査対象

市内に居住する20歳以上65歳未満の市民（要支援・要介護認定者を除く） 1,500人
平成17年5月20日現在で住民基本台帳から無作為抽出

調査方法

アンケート調査・郵送法（礼状1回送付）

調査期間

平成17年6月1日～6月16日

調査結果

回収数 717件（回収率 47.8%）、有効回収数 717件（有効回収率 47.8%）

調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問（案）
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F10	性別／年齢／家族構成（付問：世帯人数） 既婚・未婚／高齢者との同居の有無／介護経験の有無 職業／収入／居住地域／住宅／
B 健康状態・健康づくり	健康や介護に関する意識や現状についてたずねる	問 1 問 2 問 3 問 4 問 5 問 6 問 7	健康状態 医療機関の受診状況（付問：病名、医療機関） かかりつけ医の有無 かかりつけ歯科医の有無 かかりつけ薬局の有無 健康診査の受診状況（付問：場所、検査結果、受けなかった理由） 健康づくりについての意識（付問：実行していること）

C 生活習慣	生活習慣についてたずね、介護予防の参考とする	問 8 問 9 問 10 問 11 問 12 問 13	食生活 運動 適正体重 喫煙（付問：節煙意向） 飲酒（付問：節酒意向） 歯磨き
D 福祉に関する意識と実践活動	福祉に関する考え方と地域活動についてたずねる	問 14 問 15	福祉における住民参加の考え方 地域活動の参加状況・参加意向
E 介護保険サービス	円滑なサービス利用に向けて、制度の見直しについてたずね、制度の周知と理解の促進を検証する	問 16 問 17 問 18 問 19	介護保険のしくみについての周知状況 介護保険サービスと保険料についての考え方 介護を受けたい場所 介護保険制度の改善策
F 情報や相談	市の施策の方向を考えるための資料とする	問 20 問 21 問 22 問 23 問 24 問 25 問 26	市のホームページの閲覧状況 健康や介護についての情報入手源 介護や福祉サービスについての相談先 医療や保健についての相談先 権利擁護制度の周知状況 相談窓口の周知状況 周囲で困っている人の有無（付問：困っている人、事例）
G 要望	市への要望をたずねる	問 27	市への要望＜自由意見＞

（6）居宅介護支援事業者調査

調査のねらい

府中市民を対象に居宅介護支援を行う事業所の状況から、運営状況と今後の方向をたずね、事業所の質の向上に向けた支援策の参考とする。

調査対象

府中市の要支援・要介護認定者のケアプランを作成する居宅介護支援事業者 45 事業所

調査方法

アンケート調査・郵送法（礼状1回）

調査期間

平成 17 年 6 月 1 日～ 6 月 16 日

調査結果

回収数 40 件（回収率 88.9%）、有効回収数 40 件（有効回収率 88.9%）

調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問（案）
A 事業所プロフィール	分析の軸となる事業所の基本的属性をたずねる	問 1 問 2	法人名・事業所名・所在地等 活動状況（組織形態 / 併設事業所 / スタッフ人数 資格の状況）

第1章 調査の概要

B 事業概要	利用者本位のサービス提供を進めるため、事業者の質の向上に対する取組みを探る	問 3 問 4 問 5 問 6 問 7	ケアプラン給付管理件数 府中市で活動するケアマネジャーの人数 ケアプランの作成方法 ケアプラン作成の参加者 (サービス併設事業所に)事業所内で対応した割合
C 質の向上への取組み	利用者本位のサービス提供を進めるため、事業者の質の向上に対する取組みを探る	問 8 問 9 問 10	質の向上に対する取組み 第三者評価の実施予定(付問:実施しない理由) 研修について
D ケアマネジメント	困難事例の傾向を探り、包括的継続的マネジメントのあり方を考える資料とする	問 11 問 12 問 13 問 14	ケアプラン作成が困難だった程度 ケアプラン作成が困難だったケース 困難だったケースの相談先 具体的な困難事例<自由意見>
E 介護保険制度への要望	介護保険制度の見直しに対する考え方を探る	問 15 問 16 問 17 問 18	介護保険制度見直しについて知りたいこと 介護予防マネジメントについての考え方 小規模多機能拠点についての考え方 新予防給付についての考え方
F 今後の事業運営	事業運営の見込みや問題点をたずね、今後の方向性を探る	問 19 問 20 問 21	平成 16 年度の採算 今後の事業拡大予定 事業エリア
G 要望	今後の介護保険制度運営への要望をたずねる	問 22 問 23 問 24	保険者としての府中市に望むこと 介護保険制度の改善策 介護保険に関する要望<自由意見>

調 査：株式会社 生活構造研究所

〒102-0083 千代田区麹町 2 - 5 - 4 第 2 押田ビル

TEL 03(5275)7861